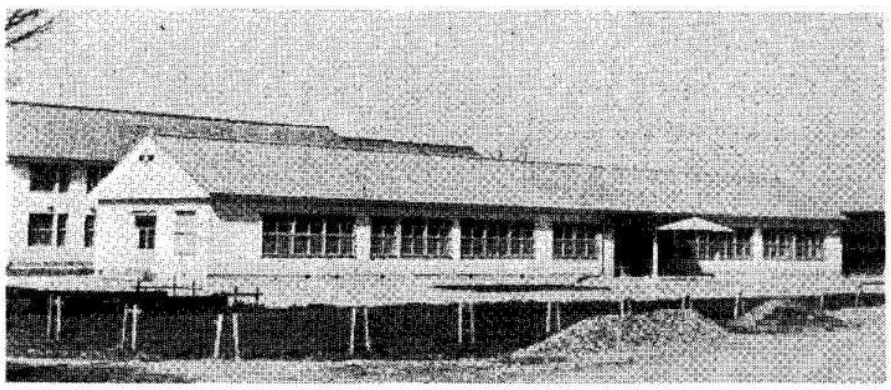
広報 こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行印刷人 矢部藤三郎

遂に完成!!
堂々たる県立小須戸病院
十九日に華やかな落成の式典

◇…町民待望の小須戸病院が見事に完成し滔々たる大信河の…◇
◇…岸に遥か霊峰弥彦を背景として、その全容を公開する事…◇
◇…になりました。来る三月十九日には県当局を始め関係…◇
◇…当時者来賓多数参列のもと華やかな落成式が挙行されます。…◇
◇茲にその感激と喜びを記念し全町民各位へ本特集号をお贈り致します◇


竣工した県立小須戸病院全景

御挨拶

町長　長谷川鉄太郎

凡そこの現代社会に於て何に尤も重きを置くか何に一番力を注ぐべきかといいますと、人の生命に関する事柄が一番先に考えるべきだという事は誰人も異存のないところと思います。吾が小須戸町においても茲に思いを致し、小須戸校々舎の跡地に県立病院を建設する事を昭和二十八年九月、中蒲原郡の町村会へ小須戸町から提案したのであります。

当時、中浦原郡は二十九ヵ町村でありましたが満場一致で決議し県へ請願する事になりました。以来運動を続けて来ましたが、郡内県会議員を初め国会議員の御協力を願い、本町議会議員と共に県並に病院当局に猛運動を致して参りましたが、数カ年の努力は遂に効を奏し、昭和三十二年一月工事に着手し昨年十二月工事完了し、次いで敷地の整理も出来たので、愈々来る三月十九日、北村知事を迎え落成式を小須戸小学校で挙行する事になりました。

病院は総坪数八百十七坪でありますが、その敷地は三千坪以上であり、本館治療棟・病棟二階建・厨房・食堂・看護婦宿舎等挙げる事のできますのは町民各位の絶大なる御支援と御協力による事は言えして、盛大に竣工式を待たないのであります。

来る十九日には知事さん初め多数の来賓をお迎ん事をお祈り致します。

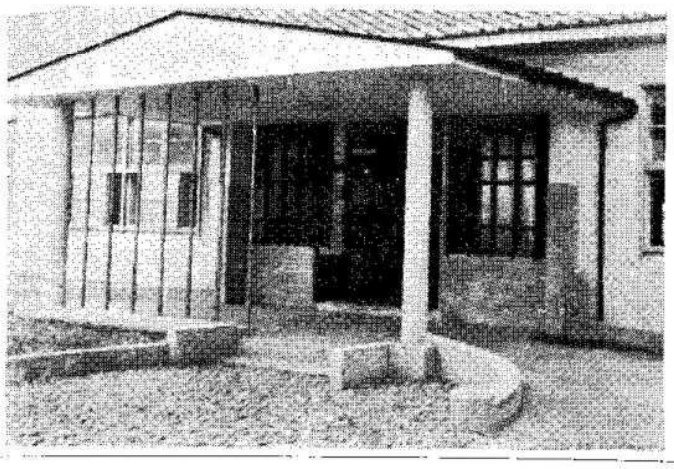
最後に皆様が立派な医療設備と優秀の技術を持たれる先生方にあって、一日も早く病気をなおし健康にして長生きせられ

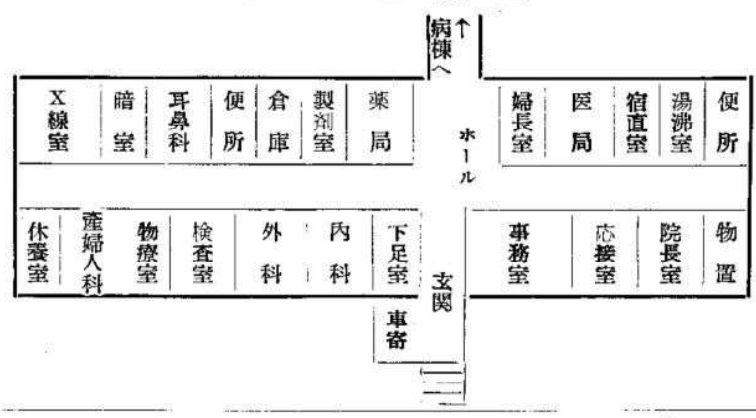
が、特に県議会議員、病院局、其の他関係者各位の皆様に厚くお礼を申上げる次第であります。

町会議長　白井門蔵

県立小須戸病院誘置は早くより町当局及び町議会に話があったが、中々問題が大きいだけ話も進まなかったのでありましたが、たま〳〵三校統合によって急速に話が進展いたし、町当局も議会も町民も一致団結して郡出身の県議会議員の御指導と御協力を得て、県知事並に県議会に請願致しました結果、吾々町民の要望にこたえられて県知事は県議会に提案せられた結果、議会は万場一致を以て議決せられたのであります。

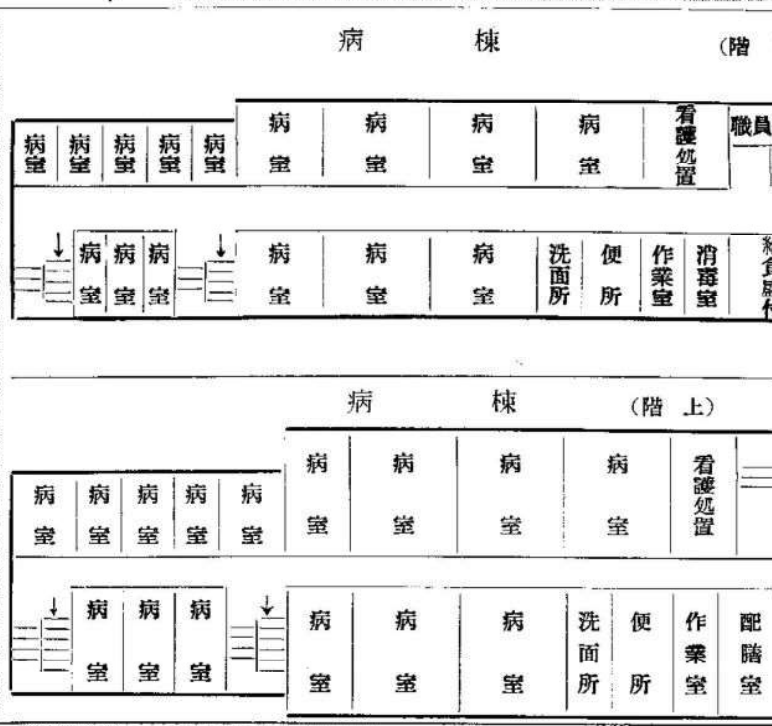
其の後、病院局には近代的の立派な病院が設計せられ、工事は本町の村祐土建株式会社の手に


正面玄関



県立小須戸病院を
自由に見ていただく日
3月20日～21日
午前10時より午後3時まで

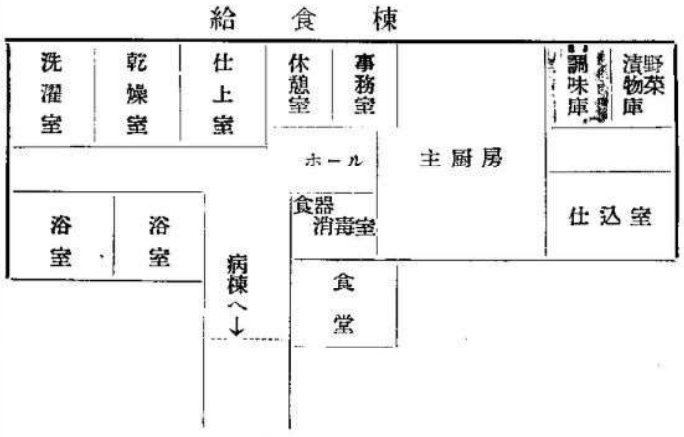
病院北側



病院落成を契機に元学校町を「寿町」と改称

学校町では小学校統合により学校が廃校となり、このたび県立小須戸病院が設置された。この落成を契機として町内会十六戸では、この喜びと発展を願って寿（ことぶき）町と改称しました。

治療棟内部　右薬局



県立小須戸病院
落成記念

◉ちょうちん行列と仮装コンクール
期日　三月十八日　雨天順延
出発時間　午後六時三十分
集合場所　県立小須戸病院前
ふるって御参加願います

◉店頭装飾コンクール
期日　三月十九日
小須戸町商工会

県立小須戸病院誘致 六カ年の回想

この度県立小須戸病院の落成に当り、これが誘致の運動に加わりましたものとしては実に感慨無量でありまして、種々政治的その他の関係で意外に永い年月を要しました点はおわび申上げます。その間、先輩並に全町民各位より物心両面にわたり不撓の御支援と御苦労をおかけ致しました事は実に感謝に堪えません。

今回「特集号」の紙面をお借り致しまして、常時悪事情に襲われ苦しみ抜いて参りました回想に立ち、その経過の大略を申上げたいと存じます。

御承知の通り当中蒲原郡は、三市を含めて人口面積とも他郡市に劣らぬものでありますが、住民の最も要望して来ました県立の高級医療施設には残念乍ら今日まで落伍者の取扱いに置かれてきたのであります。

それで私達町政をあずかる者としては断じて黙視する事ができず、昭和二十八年三月の定例町会で誘致構想の発表をしたのであります。幸い賢明な町議会は一致の協賛を与えられ激励を受けましたので、茲に運動開始と相成りました。

この時すでに白根郷の一村部代表より県に対し白根町に県立病院設置方の申入れがなされており一驚しましたが、漸くにして之を制止し去り、直ちに小須戸町四カ町村の協議会に附議し県請願は郡町村会の決議で当たる事に方針を定め、九月の郡定例会に上程、小須戸町を設置地としての請願を決定しまして、同時に郡誘致委員会を構成して運動の基盤を整えたのであります。

しかし当時の岡田県政は財的に危殆の状態であり、容易に踏み切れなかったが、町議会の強い運動が効を奏し、同年十二月県会で郡の請願は採択されたのであります。

ところで県より起債その他については中央運動依頼者の話が出たので、北村参議に協力方を申入れましたが、昭和二十九年十一月十三日、突然に北村参議が来町されまして、本省関係の一切を引受けられて帰京されました。よって県衛生部に迫り、県の立案であった医療施設整備計画の中へ当郡一カ所の編入に成功し小須戸病院が最後の県立となったのであります。

その後、県より長起債獲得の中央運動を依頼されましたので上京、北村参議の協力を得て本省折衝をなし、その見通しを得て岡田知事に報告しましたところ了解されまして、初めて設置の意を決せられたのであります。

しかし時すでに知事改選期が迫っておりましたので、残念乍ら議会関係は選挙後に見送られる事に相成りました。

やがて選挙は終り、交代して北村知事が出られまして、参議員当時からの道義に立たれ、赤字財政にも拘らず之が建設案の検討を始められ、県議会提案の準備を整えられたのであります。

しかるに発足当初よりの一部地元の反対が突如として猛烈な反対運動となって捲き起ったので、遂に都提出の案件は三十二年六月県会で目の喜びを見る事ができたのであります。

簡単ではありますが紙面に限りがありますので、これで稿を閉じますが、この長い間、各位の御協力と御苦労に対しましては感謝の言葉もありません。

助役　岡田六太郎

（写真は芸能発表会）

四カ校 芸能発表会

三月四日の桃の節句を期して午前十時より午後三時半まで矢代田小学校を会場に、例年の通り小中・高校合同の大芸能発表会が、小須戸町四カ校教職員協議会主催で催された。小学校から高等学校までが一つとなって、毎年このような発表会をもち続けるという事は、全国でも稀だろうといわれ注目される。

第八回幻灯コンクール 小須戸分館優勝

去る二十八日午後七時より矢代田小学校に於て第八回幻灯コンクールを各分館よりそれ〳〵ベストメンバーを揃えての出場で開催された。当日は好天に恵まれ、多数の観衆の中で熱演された。終了後審査員から、それ〳〵解説、音楽効果、操作についての講評がありました。今後一層の視聴覚活動に努力を願って会を閉じた。

成績次の通り

一位　小須戸分館　恩讐の彼方に

二位　矢代田分館　父帰る

三位　横水分館　高野聖

三位　新保分館　三つの道

仕事の道

三沢正ヶ藤伊天

草が生え茂っている所を人が毎日歩き通ると、そこに自然に道ができるのを良く知っている。

今日も僕が通ってきた道は、人の捨えた道である。人が捨えた道を毎日通ってくるというのは、僕達はまだ父母に養われているとでも言えると思う。中には父や母に養われなくとも一人で世へ向って行ける人もいる。だが僕が世の中へ流れ込んで、自分の力で生きていくには十年二十年いやもっと先であるかもしれない。広い草原の真ん中に細いながらも白く続いている道、それは毎日々々根気良く人が絶えず通っているからこそ、いつの間にか草がなくなって立派な道ができる。

成功するには之と同じ事か云えると思う。慣れないうちはぼう〳〵と茂った草原と同じ事、毎日かゝさず根気よく仕事をやっていると自然に仕事の道がついて、自然に良い仕事が楽々とできるようになる。人には楽と日向があってはいけないと思っている。陰日向なくたゆまず働いて仕事も良くでき、刻々と成功の道を登って行く。

しかしながら一寸休もう、こゝは見えないからと怠けてやろうなどと思うのでは、それだけ成功の道を登る事ができない。いや之が僕達未青年に多くの現象とでも云うのではないのだろうか。でも多少はゆるされ、たゆまず働く時になってこそ成功の第一歩と思う。しかし怠けてやろうなどと思っては、それだけ成功の道を「あとずさり」する。

あんなに早く走る兎でも、怠けたばかりにカメに負けてしまった。決して兎になってはいけないと僕は信じたい。

（定高文集「文鳥」より）

附寄御もへ会人婦町

横町の青木さん

先に小・中学校へ八十才の記念にテレビを御寄附下さった横町の青木勇一郎さんは、今回更に町婦人会の日頃の活動ぶりを多とされて金壱万円を寄附された婦人会ではこれに対する感謝の気持を一般の人々にも及ぼしたいという考えから、公民館に料理講習用、その他の炊事用具一式を備えて必要に応じてお借しする事に決定した。青木さんの美挙に対しては、重ねて敬意を表したいものである。

積木で遊びましょう 偉なるかな 小柴君

町婦人会より保育所のよい子達が遊具に不足しているのを見て、積木でも買ってほしいと金五千円を事業収入の中より寄附され母の会より厚く感謝されている。

四カ年間無遅刻無早退

定時制小須戸分校では去る三月一日、三十名の新卒業生を送ったが、その中に全期間を通して無遅刻、無早退、勿論無欠席で、しかも学業成績優秀につき表彰された生徒がある。白根町戸石の小柴雄一郎君がそれで、昼間は野良で勤労の汗を流し、夜間は学灯の下に精根を打込んで一分一秒も惜む事を知らなかったわけである。これについて分校主任の武田統一先生も「本人の強固な意志と家庭や周囲の暖かい理解がなければできない事で全く学業成績などを超越した優等生といわなければなりません。こうした生徒が出た事に当分校の誇りです」と推賞されていた。

季節の料理

豚肉ともやしのいため煮

材料（五人前）

豚肉一九〇グラム　もやし一九〇グラム　しょうが少々　植物油、塩、味の素

作り方

豚肉は五センチくらいの長さのせん切りにして、塩を軽くふっておきます。

もやしは根をつみ洗いします。

さあ家中そろって考えましょう

次にあげたおひめさまは皆さんのよく知っている物語や昔ばなしに出てくるものです。あいている所にかなを二字入れて正しい名前にして下さい。

①あ○じ○ひめ　②お○ゆ○ひめ　③○か○ぎひめ　④○ぐ○ひめ　⑤ま○じ○ひめ　⑥し○ゆ○ひめ　⑦○デ○ラひめ　⑧に○ぎ○ひめ　⑨竜宮城の○○ひめ　⑩たなばたの○○ひめ

◉わかった方ははがきに書いて三月三十日迄に「公民館内クイズ係」あてにお出し下さい。

◎前回の解答

①「たけくらべ」樋口（一）葉　②「細雪」谷崎潤（一）郎　③「旅愁」横光（利）一　④「路傍の石」山本有（三）　⑤「墨工船」小林多喜（二）　⑥「測量船」（三）好達治　⑦「平凡」（二）葉亭（四）迷　⑧「多の宿」阿部知（二）

懸賞クイズ 第13回

◎正解者発表

正解者多数のため抽せんの結果、左記の拾名の方に賞品をさし上げますから、なるべく早く公民館でお受取り下さい。

加茂市　保科松平
矢代田　西巻義雄
鎌倉　西村源之十
小須戸　富所範子
〃　中村貞一
〃　三浦茂
東町　竹石清
三ノ町　井本惠子
四ノ町　高橋洋子
ウデコキ夏川勉

⑨「本日休診」井伏鱒（二）
⑩「怪談」小泉（八）雲

時局講演会

とき……三月十八日午後一時～三時
ところ……公民館
講師……新潟日報社　松井主筆
主催……公民館

図書について お願い

公民館図書の利用者も年々ふえてゆく一方で大変に喜ばしい事と思っています。気易く自由に借りられるよう精いっぱい尽しているつもりでありますが、ことに矢代田分館方面の夜の出張貸出には図書運営委員の率仕で大変喜ばれております。よく利用されております

（随筆）大食大会

（但し天保の話）

柏大治

世の中は面白いもので一方ではいそがしく暮している人があると思えば一方では人生を楽しく暮す風流人もいる。

先日、一幅会なるものに出席した。これは数年前から続いている小須戸風流人の集（つどい）で、上品に言えば画一幅持参して芸術を鑑賞しながら今後一層の視聴覚活動に努力を願って会を閉じた成績次の通り

一位　小須戸分館　恩讐の彼方に

二位　矢代田分館　父帰る

三位　横水分館　高野聖

三位　新保分館　三つの道

先日、古文献を調べたら天保時代の大食大会の記録が出た。面白いから一寸発表する。

時代は天保二年二月七日、江戸は両国の万八楼で開催された。天保の万八では信も置かれまいがこの選手権食格が恐ろしい。まずお飯十五杯、一合五勺入汁五杯を見事退治しなければならない。云はば予選である。全国から食自慢の連中が集まったが、見事に入選したのが二十四人であった。

此の連中が思い〳〵好みの大食をした、代表的な人を挙げて見ると、下谷御成道建具屋金八なる者が油揚百五十枚食べた。尤もこれは時間の制限がなく、その日の内なら良い事になっていた。次は駒木組大内記家来勝谷折三郎、鰻蒲焼七貫お飯五人前、永井肥前守家来辻貞淑が大福餅三百二十個芝桜田備前町料理屋太田屋嘉兵衛が蜜柑五百五個これは甚だ怪しい。九月七日に蜜柑があるかどうか：深川区霊岸寺前石屋京屋太七が梅干四百個、谷中団子坂水茶屋主人神谷伊兵衛が醤油一升八合飲んだ。清水家々来金山平七郎は塩三合、両国駒上橋坂井源永生豆五合と水一升。

以上は代表的な者であるが醤油・塩・生豆と水の先生は此の大食大会の終らない内に苦悶して三人とも死亡してしまった。最も塩の先生は武士らしく切腹した。之はつみが重すぎて大食大会でなく決死大会といった方がよさそうだ。（終）

如月句会

小須戸町俳句同好会

寒の家の厨出入りや春の泥　山葵
折々は車灯が照す残る雪　渓灯
朝市や寒餅売の殴火鉢　水月
蕗味噌のほろ苦くはや二月　盧秋
薄氷をぎし〳〵ふみて肥をまく　香月
靴きしる雪の音ふむ星月夜　杏水
陽のめぐら雪原の視野靄に果て　紫川
街灯の灯にきて寒の雨激し　竜朗
煙突を仰げば燃ゆる駅暖炉　雲竜
宿題を炬燵に解かせ服繕う　洸水

今月図書購入

◇しかしながら　高橋義孝
◇言わなければよかった　深沢七郎
◇鬼の指紋　戸川幸夫
◇江戸の恋浪人　江崎俊平
◇独裁者　尾鍋輝彦
◇月影兵庫闇書抄　南条範夫
◇危険な斜面　松本清張
◇ドクトル・ジバゴ（一）スパテル・ナーク
◇最高殊勲夫人　源氏鶏太
◇青春の手帖　吉行淳之介
◇焔と氷　岩下俊作
◇夫婦合唱　源氏鶏太
◇夜の配役　有馬頼義
◇人間の壁（中）石川達三
◇一（4）秘に生きる男　ボール・モーラン
◇女侠一代　火野葦平
◇春委松竹梅　横溝正史
◇日本八景　火野葦平
◇谷間の教師　水野茂一
◇甘配っぱい味　吉田健一
◇嫁と姑　宇佐川満
◇すれちがい夫婦　獅子文六
◇彼の女の危機　大林清
◇絶対絶命　竹内重子
◇不良少年　西村滋
◇いきがポーンときれた生き方研究会
◇我が愛する詩人の伝記　室生犀星
◇酔いどれ船　今日出海
◇寄巌城　ルブラン
◇美男城　柴田錬三郎
◇花の散る峠　子母沢寛
◇俺は藤吉郎（七）（八）（九）　川口松太郎
◇大菩薩峠　中里介山
◇一分停車　内山保
◇日本の歴史（一）　執筆代表者　岡田章雄

公民館図書

貸出はじめ　4月3日より
貸出しのきまり
貸出し日…毎日午前9時～午後4時迄
但し3と8の市日は夜間も7時～9時迄
日曜・祭日は休み　市日の日曜日は市日の扱い
入会費…月20円　33年3月年度がわり分まで
貸出し期間…新刊書は5日間　其の他は10日間